

【秩父市】 校務DX計画

1. 1人1台端末（指導者用）の整備

令和7年1月の校務・業務用パソコン端末更新により、教員1人1台のパソコンの配備を完了。

学習用の指導者用タブレット型パソコンについては、令和5年度に、教員1人1台の配備を完了。

2. ネットワーク環境

令和3年3月に、本市の全小中学校は、普通教室の無線LANが使用可能となった。

学習系端末での電子教科書の使用やテスト等でも問題なく端末が作動するネットワーク環境の確保や、学校の業務において効率化を図るためのネットワーク環境の確保が重要である。

そのためには、文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安の値を参考に、令和7年度以降、ネットワーク環境の改善策を検討していく。

3. 校務のデジタル化・ペーパーレス化

- ・欠席連絡のオンライン化について、未実施の学校においては教育現場向け連絡システムの活用等、実施に向けたフォローを行う。
- ・押印の原則廃止を進め、学校—学校間、市教育委員会—学校間等の文書連絡・資料送付等をデータ上でやり取りすることを推進し、緊急時を除いてFAXの利用を縮小する。
- ・教育現場向け連絡システムにおいて、市教育委員会や学校から家庭への通知・連絡をアプリで行うことを推進する。
- ・校務支援システムによる児童生徒情報の管理により、紙媒体での保存文書の縮小を推進する。
- ・出勤簿、休暇簿等のデジタル化による押印廃止と、さらなるデジタル管理を推進する。
- ・PDF化した学習プリントを1人1台端末で活用するなど、学習成果物等のクラウド上での保存を推進する。